

令和5年度 徳島県企業局「戦略的経営推進委員会」議事概要

1 日 時 令和6年3月25日（月）14時00分～15時30分

2 場 所 総合管理推進センター5階

3 出席者 <委員>

山中 亮一（座長）（敬称略，以下同）

三好 真千

谷澤 勇

<企業局>

上田企業局長，中川副局長，生田次長，

井内総合管理推進センター所長

大久保経営企画戦略課長

桂野政策調査幹

河野事業推進課長

大森施設基盤整備室長

山添自然エネルギー事業化担当室長

4 会議次第

（1）開会

（2）企業局長挨拶

（3）議事

①企業局事業概要について

②令和6年度当初予算について

③企業局経営計画進捗状況及び評価について

【配布資料】

資料1 「企業局事業概要」について

資料2 令和6年度当初予算の概要

資料3 「企業局経営計画 令和4年度進捗状況及び評価」について

参考 徳島県企業局経営計画（平成29年3月策定）

5 議事概要

（1）議題1 企業局事業概要について

配布資料に基づき，事務局から説明を行い，質疑応答。

（2）議題2 令和6年度当初予算について

配布資料に基づき，事務局から説明を行い，質疑応答。

（3）議題3 企業局経営計画進捗状況及び評価について

配布資料に基づき，事務局から説明を行い，質疑応答。

< 質疑応答 >

議題 1 企業局事業概要について

【座長】

事務局から、電気と工業用水と土地造成と駐車場の事業を説明いただきました。共通している老朽化や当初これだけ売りたいと思っていた量が売り切れていないなど、これまでも取り組まれてきた経緯を説明いただきました。また、コロナ後には、以前のように戻っていないということもあり、そのためにどうすればいいのか苦慮されている話をさせていただきました。

企業局の委員会ですが、議事録を公開されており、それを拝見すると一見固い感じなのですが、非常に創造的な議論がなされて、どちらかと言えば前向きな創造的な意見交換の場かなと思っていますので、委員の皆様にも議論いただければというふうに思っています。それでは、質問、アドバイス等をお願いします。

【委員】

資料の7ページにあります、「工業用水道事業の現状(3)」の送水管がコンクリートの破裂により漏水が発生したとあるが、これはどのくらいの頻度で常時点検をしているのかということと、この漏水は急に発生したものなのか、先ほどの動画では制御所でメインコントロールし工業用水を管理しているということだったので、見えない漏水であったのか、その状況を教えていただけないでしょうか。

【企業局】

管路の点検状況については、週1回吉野川と阿南を合わせ48kmの管路巡視を行っており、その管路からの漏水や周辺での工事の状況を注視しています。地中に埋まっているものなので、外の状況の確認だけの巡視にはなりません。総合管理推進センター3階の制御所から漏水の状況が分かるものかどうかですが、大量に管が裂けた状況などになると、圧力変動も出ますが、今回の場合ですと1分当たり50リットルとか100リットル程度の漏水ですので、送水量から比べると少量であり、圧力変動等の状況は制御所からでは分からないというところです。

【委員】

どのように発見したのかという経緯を教えてくださいませんか。

【企業局】

発見の状況は、周辺住民の方から連絡がありました。

【企業局】

管の上の道に水がわき出たような水たまりができていたので、おそらく企業局の管から漏れたものではないかと推察しました。

【委員】

今後、次に発生した時に、何か発見のヒントになるものがあるのかと思い質問させていただきました。ありがとうございます。

【委員】

私の地元の那賀町に川口ダムや日野谷発電所があることは知っていますが、今回の資料を見ると地元にあるものが県内に貢献していると初めて思いました。

実際、地元の子供たちや人たちにそのすごさがあまり伝わっていない状況です。このような施設をもう少し身近に感じられるような配信や広告をした方が、より住民が身近に感じることができるのではないかと思ったのですが、そのような企画は今後ありますか。

【企業局】

PRについては、VR動画を撮影しホームページにアップすることや、川口ダム自然エネルギーミュージアムにおいて、地元や小学校など様々な方が参加できるようなイベントを開催しています。今年度の5月からカヌー・SUP施設を運営し、川口エネミューのイベントの中で、「エネルギーって何だろう」「自然エネルギーって何だろう」という勉強をしていただくとともに、SUP体験も実施したところであり、好評いただいています。また、来年度に向けては万博なども視野に入れながら、PRもさらに踏み込んだ形で広げていきたいと考えています。

【座長】

PR動画もいろいろなパターンがありますね。おっちゃんが作るとおっちゃんが好きな動画になって、若い人が見てくれないという問題があって、最近では15秒くらいのショート動画だとInstagramとかで見てもらったり、どの世代に訴えかけたいのかをマーケティングし、どういう世代に見られているのかアナリズム、分析をするのがとても大事かと思いました。

今回、4つの事業について紹介いただきましたが、それぞれの間でシナジー効果を生むような連携はありますか。それともバラバラですか。例えば簡単な話ですが、駐車場を10回使ったら抽選に参加できて当たったらSUP教室に参加できるといったものです。武器が4つあって良いが、それぞれを利用し合って事業効果を高めるような、そういう仕掛けがあると関わっている皆さんも楽しくなる気がします。当然、シナジー効果を発揮しづらいものは難しいかもしれませんが、良いコンテンツをお持ちですし、仕掛けを作っていくと良いかと思いたすがいかがでしょうか。

【企業局】

シナジー効果について、駐車場と川口エネミューの連携はできていませんが、川口エネミューがある場所では、川口ダム湖付近をひとつの回廊とし、その回廊をどう売り出してPRしていくかということについて、那賀町や地元の方々と連携、企画し、イベント開催に取り組んでいるところです。ご提案のとおり、もっと大胆な、駐車場とこういったところとを結びつけていけるようなことも考えていきたいと思いたす。

【座長】

素晴らしい取り組みをしていると思います。駐車場を屋根付きにしてその上でソーラー発電をすることも良いと思います。車が濡れるのを嫌う人もいるし、屋根付き駐車場だと利用料金を高くしても屋根付きだったら駐めようかという人も出てくる可能性もあります。発電ノウハウもあるので、そういったシナジー効果も良いと思います。

あとブランディングの話ですが、企業局のマーク、シンボルマークみたいなものはありますか。

【企業局】

名刺に刷っているマークがそうです。

【座長】

例えばバッグ作る、Tシャツ作るなど、社会的認知が高まれば、「このマーク見たことあるな」と思ってもらうことで、今後、次の議題にある工業用水道の値上げの話の際に、「あれだけ頑張っているんだから値上げも仕方ない」という社会的コンセンサスの土台になるような工夫をすると良いと思いました。

【委員】

資料の1から4ページの発電事業に関して、水力発電と太陽光発電についてその発電方法の違いによる長所、短所と経営に与える影響、併せて企業局における発電方法の将来展望をお教えてください。

【企業局】

水力発電と太陽光発電は、共に長所として再生可能エネルギーの特性、例えば運転時にCO₂の排出がないことや燃料が不要などの特徴があります。太陽光発電は短所として、日中の太陽が出ているときだけの発電になりますが、日野谷発電所や勝浦発電所などの水力発電は、ダムの貯留水を使って下流へ流す水量の範囲内で自由に運転調整ができ、夜間も発電できます。電気は発電側と使う側のバランスを取らなければならないことから、四国電力の電力需給調整に役立っています。

経営的な面では、共に天候により発電量が増減します。令和4年度は渇水傾向で水力発電の収入は1.3億円ほど減りましたが、太陽光発電は逆に天気が良かったため6千万円ほど収入が増え、結果的に水力の減収を太陽光が補うことになりました。

将来、水力発電の日野谷発電所は大規模なリニューアルを考えており、適切な維持管理と合わせて安定供給を継続したい。太陽光発電も固定価格買取制度の買取期間20年間の半ばを過ぎ、今後も関係部局と連携しながら脱炭素社会の実現に貢献していきます。

【委員】

2つ目、該当ページ8ページになります。送水管の老朽化、耐震化対策についてスピード感を早めることが必要とあるが、そのために具体的にどのような施策を実施されていますか。

【企業局】

工業用水道の老朽化、耐震化対策は、その規模が大きいことから、長期的な工事計画を策定し計画的に進めているところです。やはり規模が大きくなると費用も多額になるため、国の補助制度や企業債を活用し、経営コストの縮減、平準化を図るなど、これまでも取り組んできました。令和6年度から進める更新工事40億についても同じように国の補助制度を活用して執行していきたいと考えておりますが、昨今、原油価格の高騰、急激な円安、世界情勢の変化など事業経営を取り巻く環境は厳しく、今後も変わらないかと考えています。将来に向け、健全で安定的な経営を持続するには、工業用水道の30年間据え置いてきた料金のあり方を皆さんと検討していく必要があると考えています。

【委員】

3つ目、資料11ページ、最近、松茂とくとくターミナルの駐車場利用台数が増えているのではという知人の話がありますが、実際に利用台数は増えているのでしょうか。

【企業局】

松茂の利用台数は、平成30年度の年間約63,000台の利用があったところ、令和2年度には約20,000台と3分の1に落ち込みました。ただ令和4年度は44,000台と、7割程度まで回復してきています。今年度は2月末現在で51,000台で約8割まで増えてきており、コロナ禍前までの数字に近づいている状況です。

議題2 令和6年度当初予算について

【座長】

当初予算の概要と主要施策の概要について説明いただきました。委員の皆様いかがでしょうか。

【委員】

川口寮は自分が知らないだけかもしれませんが、どういう方が住んで、何をしているのかが全然分かりません。そこにただあるだけという状態ではないかと思っています。個人で住んでいる方も地域にもう少し入ってきていただけたら、そこから見える地域課題を通して、スマート回廊やエネミューでイベントを実施したり、我々側からも声をかけやすくなると思います。認知とか子供たちに対しての啓蒙活動もしやすいのではないかと思います。

【企業局】

新しい寮は、現在工事中であり、単身向けの寮です。世帯向けのいわゆる公舎も別にあります。地域活動にどこまで職員が参加しているのかは情報を持ち合わせていませんが、住まいとして地域で住んで、そこで生活をしているということですので、様々な地域の活動や情報は、寮や川口庁舎に勤務する職員に対しても情報提供していく必要があると思います。

【座長】

地域連携に向けてお互い良いものを持っているから、力を合わせていけばもっと良くなるという前向きな指摘だったと思います。

【企業局】

補足ですが、世帯赴任していないというネックがあります。以前、那賀町に住んでいた際には、地元の人に意見を伺ったりという環境が整っていたと思います。今の現状としては、地元の議員やキャンプ場の方、漁協の関係者の方が集まる会議でいろいろな意見、アドバイスを受けて施策に反映しています。ただ、何度も顔を合わせて話をする情報収集力に比べたら確かに少ないと感じています。

【座長】

昔は飲み会をして信頼関係を積み重ねていくということができたが、最近そういう土壌がなくて、なかなか苦勞していると思います。例えば国交省で「かわまちづくり」をしていますよね。そこと連携するのもありかと思いました。他にいかがでしょうか。

【委員】

資料の最後の「令和6年度企業局主要施策の概要」で「I 社会貢献の加速（1）2050年カーボンニュートラルへの貢献」の1つ目の自然エネルギー新技術導入推進事業の中にあります、小水力発電の導入を支援するというところがありますが、どういう小水力発電の取り組みをしようとしているのか具体的に教えていただけますか。

【企業局】

来年度予算の小水力発電につきまして、これまで企業局において水力発電所を運営してきたことから、今まで培ってきたノウハウを生かして市町村への小水力発電の導入支援を行うとともに、自然エネルギーの導入拡大に向けた取り組みを進めています。

小水力発電は県内に点在する中山間地域の溪流などに設置しますが、それを導入する場合、設置条件に合わせた機器の開発が必要となり、小規模な設備でもコストが高くなるという課題があります。今、徳島大学の重光准教授と連携し、低コストで汎用性が高いインライン型水車という、直径が6センチから10センチくらいのコンパクトで配管があれば設置できる水車の開発を通して、市町村や民間への導入に繋げていきたいと考えています。具体的には今、徳島大学の重光先生と美馬市で実証実験を行っており、今度、実際に三好市の水道施設に導入を考えています。来年度はその設計等の検討を進めていくこととしています。

【委員】

自分の専門に近かったので興味があって質問させていただきました。

【座長】

ここまで予算概要と主要施策の概要について説明いただきましたが、予算については健全であり、一部内部留保を使うというところもありますが、経営が回っているということだと思います。

主要施策は委員からも指摘がありましたが、様々な地域の動きと連携しながら進めていけば良いのではないかという提案をいただいていますので、検討をお願いできればと思います。

議題3 企業局経営計画進捗状況及び評価について

【座長】

全体的には評価がAからDに転落したものはなく、非常に緊張感をもって進めているという感想を持っています。その中でもB評価やC評価が残っており、これを前向きに解消できるようなアイデアや留意点などあれば、皆様からご意見をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

未売水がC評価ですが、考え方によれば何か起きたとき、災害が起きたときに「緊急で水が提供できます」「水が減っても皆様には確実にお届けできます」とむしろ、扱い方を変えていくことも良いと思います。実際、省水力化されていく企業が多いなか、水量自体は入ってくるわけですから、そのブランド化を図った方が良いのではないかと思います。

お金が入ってこないというところもあるかもしれませんが、今、使っている方をどう維持していくのかという視点も当然経営として必要かと思えます。各企業でBCPを作っていると思いますので、それをヒアリングを通じてどのような水供給が望ましいと思われるのかを捉えるのが大事だと思います。今の評価軸だとなかなかC評価から脱せないと思いますので評価の仕方を変えていくということも必要と感じます。

【委員】

手元にある冊子で徳島県企業局経営計画を見せていただきました。2ページ目の計画期間は10年間であり、令和4年度の後半5年間で改定するとあり、最初の平成29年度に決めた項目から年数が経つと状況が変わっていくと思いますので、53項目が多いのか少ないのか分かりませんが、既にAで達成しているものが94パーセントもあるとB、C、Dが見えなくなります。また新たに何か別の視点で項目を増やすことを検討してはどうかと思いました。新しく出た項目がAであれば特に問題はないかと思いますが、見当たらないところに何か課題があるのかもしれないので、また見ていただけたらと思います。

【委員】

「③戦略的な情報発信の推進」でFacebookやTwitter、YouTubeで年100回以上発信しているというのが素晴らしい数字だと思います。ただ、年100回以上発信してFacebookが2万回アクセスというのは若干少ないのではと思います。もう少し上を目指したり、発信する内容を変えていくと、この数字が伸びてくるのではないかと思います。Twitterが15万件というのは良いと思うが、Facebookをもう少し強化したらと思います。

【企業局】

確かに100回というのは、担当職員的にも厳しい数字で、企業局全体でいろいろな点検

業務やエネミューのイベントの情報発信に取り組んでいますが、残念ながらFacebookは2万件と、ただ、そもそもFacebookの利用者が落ち込んでいることも聞いておりますので、Facebookをどうしていくかについてはいったん考えさせていただきたいと思っております。Twitterはバズったといえますか、ダム湖での丸太走り大会は、四国放送のアナウンサーが来ていろんな発信をしていただいたこともあり、たくさん視聴いただいたということがあります。目標設定については、相談させていただき改めて設定したいと思っております。

【委員】

資料2 ページ目の藍場町地下駐車場をチケットレスにしたことの具体的なメリットとデメリットを教えていただきたい。また松茂駐車場と藍場町地下駐車場の将来展望を教えていただきたい。

【企業局】

藍場町地下駐車場は昨年2月に車番認識システムという新たなシステムを導入し、ゲートレス、チケットレス、キャッシュレスの3つのレス化を行いました。一番のメリットはゲートとチケットがないことです。この駐車場は出入口が狭くなっており、ゲートの機械を置くと更に狭くなっていました。そのゲートの機械がなくなって通りやすくなったことやチケットを取るために機械に車を寄せる必要がなくなったことが良くなった点となります。入庫時にナンバープレートをカメラで撮影、システムに記憶することにより、出庫する際には事前精算機やスマホで精算していただければ、ゲートはなくそのまま出ていただけます。また運営側からいうと、チケットにも印刷代と用紙代がかかっており、ゲートが開閉するにも電気代がかかっていましたが、それがなくなり経費の軽減もメリットになると考えています。

一方でゲートがないため、駐車場を利用される方が初めて来た時に分かりにくいという意見があり、以前のシステムでは出口に精算機があったため、出口に精算機があると思っ て行くと、精算機がなくそのまま外に出てしまい帰ってしまうケースがありました。それがデメリットにはなりますが、車番を記憶しているため未払いになっていることをご案内すると、後日支払っていただけており、未払いの率も下がってきている状況です。

松茂と藍場町地下駐車場の将来展望としましては、以前は20万台程度の利用台数がありましたが、コロナで利用が落ち、令和4年度は18万台という目標数値が達成できませんでした。令和5年度はコロナが5類感染症に移行され、周辺のイベントが開催されたことなどにより、今年度の2月末現在で約17万8千台の利用があり、目標の18万台は大きく超えていくと考えています。松茂駐車場は今月の16日から高速バスの関空便が再開されました。関空便はコロナ禍前には年間6千便、3万人の利用があり、再開により駐車場利用も促進されると考えています。新ホール等の整備の連携もありますが、引き続き利用促進や経営安定化に繋がるように取り組んでいきたいと考えています。

【座長】

そろそろ予定の時間が参っております。全体的に見直しますと、冒頭、局長のお話にもありましたが、コロナ後に非常に時代の流れが早くなっていることに対し、どのように対処していくのか早急に検討し進めていただきたいというのが委員全員からの意見と考えます。その中にはSNSの更なる活用や様々な考え方の整理などがありましたので、企業局

として引き続きどう取り組んで行くのか検討していただきたいと思います。

それでは、議題3の「企業局経営計画進捗状況及び評価」について、事務局案のとおり進めていただくことでよろしいでしょうか。

【委員】

異議なし。

【座長】

ありがとうございます。それでは、事務局案のとおり進めていただくということで了承となりました。

最後に1点。いただいたパンフレットを拝見すると可愛くて良いですが、中を開くと企業局が発信したいことを書いています。一方、冒頭の動画は非常に良くて、私が知りたいことがありました。企業局が私たちの生活にどの場面でどう関わっているかがわかるようなパンフレットもあれば良いと思いますし、動画のQRコードを貼れば更に視聴者数も増えるのではと思います。

< 以 上 >